



NPOバンク 誌一側

2004年3月
Vol.10

GoGo北海道NPOバンク

講演日記

北海道NPOバンク 理事長 杉岡直人

2004年1月17日 「エコ貯金フォーラム」～貯金を変えれば社会が変わる～に参加して



A SEED JAPANでは、「環境社会配慮（環境や社会的な問題に配慮して融資を行うこと）」を特徴としている金融システムを「エコ貯金」と呼んでいる。「エコ貯金」には、大きく三つのタイプに分けることができる。

第一は、預・貯金型であり、ふつうの銀行と預金形態は同じだが、目的が非営利の金融機関。中小企業や自営業、地域住民への融資を中心にしている 労働金庫・信用金庫 etc

第二は、出資型であり、社会性のある会社・事業に融資をする、非営利の小規模バンク。特にNPOなど、大手の銀行からの融資を受けにくい社会的事業の資金確保に役立っている 未来バンク、市民バンク etc

第三は、投資型であり、主に上場企業が対象。株や債券を買うことで、企業を応援または意見することができる。手法としては、SRI（社会的責任）指標や NGO が発信する企業情報等を参考に個人投資などに分けられる。

さて、今回のフォーラムは、貯金を通して環境・社会問題に取り組んだもので、エコロジーと貯金の関係。私たちの預けたお金がどこに運用されているかということを意識し、より環境や社会に配慮したお金の流れを作ろうと呼びかけたものである。基調講演では、金子勝氏（慶應義塾大学教授）と水口剛氏（高崎経済大学助教授）を迎え、金融の現状そして新たなお金の流れを中心に講義を受けたあと、後半は、3つの分科会（出資型、預貯金型、投資型）を設けて展開された。私の参加した出資型分科会のコーディネーターは、未来バンク事業組合（田中優理事長）であり、報告者は、北海道NPOバンク（杉岡直人理事長）、岩手県消費者信用生活協同組合（横沢善夫専務理事）、女性・市民信用組合（WCC）準備会（向田映子代表）、東京コミュニティパワーバンク（坪井眞理）、長野県夢バンク（NPO：田中理事）が、これからの市民出資型のバンク事業を定着させ地域の市民活動を支えるバンクとしての方向性と課題について、熱い議論が繰り広げられた。出資型バンクは、目標として参加者が出資型の可能性を力強く感じ、その取り組みが各地域で活発に行われるようになることである。そこでは、出資型のシステム（意義、メリット、必要性、問題点など）を明らかさなくてはならないこと、システムのポイントとして、元本を保証する預金ではなく、本人の意志に基づいた出資で資金を調達すること、融資の対象はNPO/NGO活動であること、無担保融資に際して審査がそれなりに工夫されていること、貸し倒れは（ほとんど）ないこと、コミュニティバンクとして、各地域に誕生すべきものであることが強調された。最終的には、地域再生の課題であるグローバル化した経済にどう立ち向かうべきか、出資者をどうやって募るか、リスク管理はどうするか、融資先をどのように開拓するかなどについて議論された。

2004年2月22日 「沖縄NPOセミナー」～これからはじまる、私からはじめる～へ参加して

私がNPOバンクを設立するよう励ました沖縄スタッフへのアドバイスは、第一にNPO支援バンク=NPOが活用しやすい仕組みづくりであり、NPO支援という発想は、行政の立場からアイデアを出していることになっていることに気づかないといけないということ。行政の立場でバンクをつくると行政からは資金（出資）が期待できませんが、北海道のように一般市民への浸透が弱くなってしまう。沖縄の伝統である「もあい」は、大手銀行の進出を困難にし、地下経済のようなダイナミックな展開をみせていることです。模合（もあい）というのは、沖縄に定着している古くで進化しつづけている金銭的相互扶助システムです。仲間として会ができるとメンバーが定期的に集まって一定の金額を出し合い、その集まったお金で、ゴチになったり、順番に集まった資金を受け取る（最後は、皆おなじお金を受け取るように、一巡するまで同じ人はお金を受け取れない仕組みです。お金をとる人をクジや入札で決めるなど、模合（もあい）ごとにいろいろ取り決めがあります。歴史的にみると無尽講や頼母子講という内容に近い。この背景には、戦後の沖縄で、金融機関の整備が遅れたことが、あげられるということだが、紙くずになった戦後通貨改革で、自分のお金を自分たち信じ合える仲間ですら守ろうという意識が強いと思われま。現在は、一回に出す金額も一万円とか二万円。親戚同士や、職場仲間や友達とのコミュニケーションの場として気軽に楽しむ模合（もあい）が多い。何カ月かに一度、数万円の臨時収入があるのは、楽しみがあるということでしょう。実際のところは、積み立て預金の前どりシステムであるから順番に大金がすぐ使えるというところに強みがあるし、仲間ですられば、きちんと積み立てできるというものです。



結局、もあいの精神は自立互助であり、自主解決をお互いのリスクと楽しみを共有して実現するものなので、バンクの基本は、資金を必要としている関係者が出資をおこなうことで第一義的な課題をクリアするということ。自分たちが必要としている資金をどこからか出してもらうことで解決しようすれば、自助努力は介在しないことになります。これは、北海道NPOバンクの反省点でもあります。必要だろうという発想でお節介？を先行させ、あとから「出資をして事業組合に参加しましょう」という呼びかけは、他人事への協力というスタンスを生み出します。その意味で、先行させるのは、NPOの乱立と経営に対する認識を高めて、事業体としてのNPOを自覚できる団体を拡大し、連帯組合としての特徴をうながすことでしょう。

ただし、むりなく楽しく生活をエンジョイする時代にあって、この考えを通すことは難しく、沖縄の人々はあくせくせず平和的に生活する文化を基調としているところに多くの日本人が憧れと敬意をいだいているのが、沖縄の固有の文化といえるのではないのでしょうか。

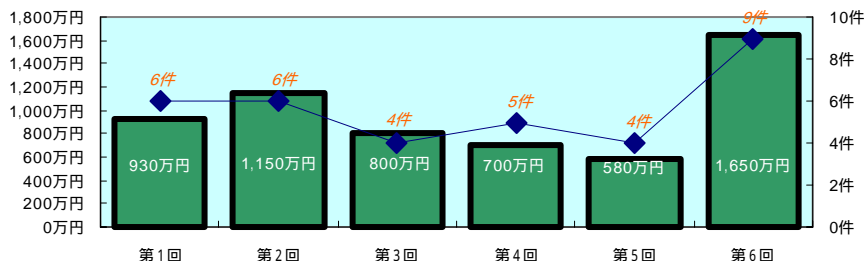
もあいの発想は、NPOによく似ています。いつも新しい仲間を見つけて、もあいは増殖しているので、古い人間関係を維持しようとしているわけではありません。同士の確認をする場であり、仲間が仲間を引き込んでいきます。あきらかに共同体ではなくアソシエーション（意思のある人々の連合）になっているのです。お金がからむNPOの問題は、もあい文化のなかで、すでにルール化されています。他の地域でも、もっと「もあい」を考えるついでをやるのが大事であると痛感しました。仲間でありつづけることは、仲間をつくらしたり見つけたりする以上に大変です

が、そこに負担をもちこむことで強い連帯主義が作り出されています。閉鎖的な要素もありますが、アソシエーションは、開放的です、出入り自由な組織が特徴です。沖縄には「もあいバンク」しかない。間違いない。と扇動してきました。夜の懇親会で7月のバンクフォーラムに是非きてほしいと沖縄焼酎久米島久米仙を飲みながら説得しました。最後に20年くらい前のゼミの卒業生が沖縄生活を送っていてNPOセミナーに参加していたのは、NPO実践者として教育効果？なのかと自画自賛した次第です。

北海道NPOバンク第6回融資決定

第6回の融資審査が終了し、9団体のNPO法人等に1,650万円の融資が決定されました。NPOバンクの融資も第6回を数え、34団体に5,810万円の融資を実施してきました。そのうち、全体の約74%が札幌市内に主な事務所を有する団体で、全体の約65%が保健福祉を活動分野とする団体で、主につなぎ資金として融資が利用されています。

今後は、融資申込時期を知らないという団体もあることから、広報による周知の徹底を行なってまいります。



2004 NPOバンク融資申込みのお知らせ

- 第7回融資 申込開始：4月19日～5月7日 ・融資実行：6月中旬
 第8回融資 申込開始：7月26日～8月20日 ・融資実行：9月下旬
 第9回融資 申込開始：10月～11月 ・融資実行：12月中旬

左記の日程は予定です。状況によっては変更する可能性があります。融資書類はURLから取り出せます。

融資判定表について

NPOバンクの審査の中心となる融資判定表は、下記9項目により審査を行ないます。書面審査70点、面接審査30点の配分として、計100点満点の評価をします。

審査委員会は、この融資判定表によって審議し、融資の可否を多数決で決定して、理事会に報告します。最終的に理事会によって、審査委員会での報告を参考にしながら、融資の決定が行なわれます。

審査項目	チェックポイント	ポイント別点数	配点	点数	備考	
1 目的の社会性	事業目的に公共性が認められるか。	0 2 3.5 5 7	15点		事前	
	事業目的に地域貢献性(やろうとしている事業が、受益者となる人たちに本当に求められているのか。)が認められるか。	0 2 4 6 8			事前	
2 経営責任者の評価	経営責任者は信頼できるか。	0 1 2 3 4 5	10点		面接	
	経営責任者は経営能力、リーダーシップを持っているか。	0 1 2 3 4 5			面接	
3 経営チェック体制	理事会の開催頻度は、適切か。	0 1.5 3	5点		面接	
	理事会の内容は、適切か。	0 1 2			面接	
4 組織の状況	職員数、パート職員数、ボランティア数は、事業の内容及び規模の点から適切か。	0 1.5 3	10点		事前	
	活動拠点の状況、設備の状況は、事業の内容及び規模の点から適切か。	0 1.5 3			事前	
	活動状況は、事業の内容及び規模の点から適切か。	0 2 4			事前	
5 事業の状況	業界の一般的な状況はどうか。	0 1.5 3	10点		面接	
	融資申込団体の業界の中で占める位置はどの程度のものか。	0 1.5 3			面接	
	サービス等の提供内容、提供量、単価等は事業の内容及び規模の点から適切か。	0 2 4			事前	
6 事業計画及び実施体制	短期・中期・長期の運営計画が明確か。	0 2 4	20点		事前	
	事業を行う場所・時間・方法等は、受益者のニーズを反映しているか。	0 2 4			事前	
	事業遂行にあたっての業務分担や、担当者が設定され、スケジュールが明確にされているか。	0 1.5 3			事前	
	事業実施の際の協力者等とのコミュニケーションがとれているか。	0 1.5 3			面接	
	事業の進捗状況や予算の執行状況の確認体制、情報の共有体制は整備されているか。	0 1.5 3			面接	
	受益者から寄せられた意見や苦情に対応できる体制であるか。	0 1.5 3		面接		
7 財務状況	損益状況は、事業内容や規模と比較して適切か。	0 1 2 3 4 5	15点		事前	
	キャッシュフローの状況は、事業内容や規模と比較して適切か。	0 1 2 3 4 5			事前	
	借入金の状況は、事業内容や規模と比較して適切か。	0 1 2 3 4 5			事前	
8 資金繰り計画	現金収支の計画・予測が妥当か。	0 2 4 6 8 10	10点		事前	
9 連帯保証人の職業	連帯保証人は、安定的な収入があり、返済を見込めるか。	0 1 2 3 4 5	5点		事前	
		書面審査	70点	面接時審査	30点	合計

お知らせ・お願いコーナー

サポート便りに掲載を希望する手記・情報がありましたら、下記問い合わせ先までご連絡願います

NPOバンクに対する問い合わせ先・資料請求先

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F 北海道NPOサポートセンター内
 TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524 <http://npo-hokkaido.org/>